2021年度　第1回　日本診療放射線技師連盟理事会　議事録

日時　2021年2月27日（土）18:20～19:45
場所　WEB会議
出席者　理事長：芳士戸治義
　　副理事長：白木尚、丹羽政美、中上康次
　　理　事：木暮陽介、麻生智彦、上田克彦、江藤芳浩、富田博信、児玉直樹、中村勝、富田伸生
　　小黒清、篠原健一、山本英雄、高嶋敏光、茂木大志、廣木昭則、中村泰彦、藤井雅代
　　江田哲男、松田恵雄、江端清和、吉川典子、西川祝子
　　監　事：松原馨
　　参　与：畦元将吾
　　陪席者：加藤京一
委任状出席者　理事：田中功、船水憲一
欠席者　理　事：大野肇、北村秀秋
　　監　事：奥村雅彦
書　記　谷本恵子

【議事】
1. 業務報告・周知事項(報告期間：前回理事会～本日)
　1）活動報告　（木暮理事）
　　- 2020年10月5日（月）：宏池会と語る会に参加
　　- 2020年10月14日(水)：日本放射線科医会・医会の井田理事長と打ち合わせ
　　- 2020年10月22日(木)：埼玉ナイトセミナー(Web)に参加
　　- 2020年11月4日(水)：自由民主党　予算政策懇談会に参加
　　- 2020年11月12日(金)：あぜもと将吾政経フォーラムに参加
　　- 2020年12月7日(月)：鴨下一郎先生と打ち合わせ
　　- 2020年12月8日(火)：医療技術者団体協議会　政策懇談会に参加
　　- 2020年12月10日(木)：第36回　岸田文雄と国政を語る会に参加
　　- 2020年12月11日(金)：橋本がく　前進の集い2020に参加
　　- 2020年12月13日(日)：国会議事堂及び衆議院会館見学
　　- 2020年12月15日(火)：田村憲久　第9回　社会保障勉強会に参加
　　- 2021年1月14日(木)：日本診療放射線技師連盟と畦元将吾議員とのWeb懇談会開催
　　- 2021年1月30日(土)：宏池会会長岸田文雄先生をお迎えしての畦元将吾先生報告会開催
　　- 2021年2月16日(火)：元厚生労働大臣根本匠先生をお迎えしての畦元将吾先生活動報告会（第1回）開催　今後毎月開催予定

　2）情報システム報告(木暮理事)
　　- 連盟ホームページに、畦元将吾議員付の自民党員への入党方法、2020年度第4回議事録、役

員名簿追加について掲載を行った。

- 畦元将吾議員付の自民党党員数を毎月 15 日付で掲載するようにしている。2 月 15 日付けの党員数は 3234 名であるが、その内、診療放射線技師は約 1300 名という状況である。
- 日本放射線技師連盟ニュースを毎月連盟ホームページに掲載しており、トップページからダウンロードできるようにしている。
- 連盟入会申込フォームの準備を進めている。今までは FAX、メール等だったが連盟ホームページから入会できる形式とする。
- SNS について Instagram、Twitter、Facebook にて活動を投稿しているが、広報不足のため連盟ホームページにおいても SNS の広報をしていきたい。
- Paypal を利用した入金システムを検討している。
- メーリングリスト(会員約 900 名)についても登録を進めている。

3) 会計報告(木暮理事)

- 連盟会員数は 984 名(2 月 27 日時点)である。2020 年度年会費納入状況確認中だが、2021 年度 (1 月 1 日から)会費納入者は 6 名のみとなっており、会費納入をお願いしたい。
- 日本放射線技師連盟の主な支出としては、田村憲久先生への厚労大臣就任祝い、あぜもと将吾政経フォーラム、田村憲久 第 9 回社会保障勉強会、医療技術者団体協議会 政策懇親会、橋本がく 前進の集い 2020、第 36 回岸田文雄と国政を語る会、鴨下一郎先生と打ち合わせ、第 55 回林芳正朝食勉強会、さくらインターネットドメイン更新、さくらのレンタルサーバスタンダード変更等となる。
- 3 月中に政治資金収支報告書を東京都の選管に提出予定(事業会計締めは 12 月 31 日となる)。
- 日本診療放射線技師連盟の事務局移転を検討しているが、新年度年会費が納入されないと厳しい状況である。

4) 国政報告(畦元参与)

2 月 28 日広島にて参議院選挙の西田英範先生決起大会に出席のため、会の最初にお話しされた。
2 月 26 日予算委員会において厚労部会と環境省の分科会で意見交換を行った。
以上の内容を Facebook に投稿する予定である。

環境省にて

- 小泉進次郎大臣との質疑があり、東日本大震災にからめ診療放射線技師のことに関して話をした。今後、東日本大震災規模の地震、津波が来ても東日本大震災時のような原発事故は起こらないということだった。今なお福島に対する風評被害があり、診療放射線技師が指導者となって正しい放射線を伝えたい。環境省また経産省にバックに入ってもらってできないかということを提案したところ、前向きに検討してくれると回答を得た。大臣としてもそのような活動をしないといけないと思っている、福島だけでなく全国でそのような活動をしていきたいとお言葉をもらった。
- 広島大学のカーボンニュートラル×スマートキャンパス宣言についての話をした。駐車場に EV 設置の促進、地熱を使って冷暖房をする環境整備を 10 年のうちに行う活動について

報告した。これに対し、小泉大臣は非常に賛同されており、全国に支持してもらえるよう国からも援護するということだった。

厚生労働省にて

- マスメディアにおいて COVID の濃厚接触者として診療放射線技師や臨床工学技士は医師、看護師などの“など”に含められてしまう。政府発信の文書や発言においてはできるだけ“など”で括るのは辞めていただきたい。政府発信のものから診療放射線技師というワードが出ることで、自分たちの職業を認めてもらえているという認識にもつながり、自信、モチベーション向上につながるという話をした。三原副大臣はこのことに関して納得されていた。
- 診療放射線技師養成学校カリキュラム数が増えているということも受けて、3 年生から 4 年生にするべきではないかと意見した。学校を 3 年生から 4 年生にするには費用がかかる上、学生にも負担がかかる。この負担に関しては国に援助してもらいたいとお願いした。これに対して厚生労働省は検討するという回答であった。
- COVID 専用だけでなく地震など災害にも使用できる CT 車両が欲しいとお願いした。現在自衛隊に 1 台あり、第二次補正予算にて 2 台の予算が下りることとなり全国で 3 台になる。3 台では少ないので 15 台にならないかということを伝えた。使用しない時は検診車や過疎地での使用を提案したが、検診利用に関しては自治体の管轄となるということであったのでそちらで検討するよう伝えておくという回答であった。災害や COVID に関しての予算は第三次補正予算で下りるため、これから頑張っていく。我々診療放射技師が COVID 対応に尽力していることを何度も伝えた。
- COVID 感染対策の換気において、できるだけヘパフィルタを使用していただきたいということであったが、必ずしもヘパフィルタを使用しなくてもよいということであった。

5) 日本診療放射線技師会報告(上田理事)

- 厚労省の関係から診療放射線技師の需給バランスの調査をしたいとの依頼により、個人情報がない状態で分析情報を提供した。
- 環境省について原子力災害時の内部被ばくの測定に協力してもらないかという話があり、前向きに検討している。内部被ばくの新しい機器の開発ができたということで、診療放射線技師が商用するのが適任ではないかということであった。具体的なことは決まっていない。
- 業務拡大について 2 月に法案が提出され、3 月にその法案が成立する見込みである。現在はこれに向けての研修内容について日本医学放射線学会、看護協会に監修協力をお願いしているところである。
- 外部団体とのつながりとして日本医学放射線学会、日本放射線専門医会、日本放射線技術学会と日本放射線技師会の 4 団体で定期会合を持ってはどうかの提案あり、参画したいと返答している。
- 医療技術者団体協議会を設立したいということで JART の会長として呼ばれた。臨床検査出身の議員の先生方が発起人であり、畦元先生も副会長の就任の依頼があった。政治団体であり、芳士戸理事長を推奨したいと思っている。

6）広島県報告(中上副理事長)

- 1月16日広島県診療放射線技師会互礼会を行い、メーカーの方々の前で畦元議員に活動報告をしていただいた。自身も畦元議員の応援演説をした。広島県技師会会長の計らいにより、技師会研修会でも畦元先生に活動報告をする機会をいただけた。研修会はハイブリッド開催であった。技師約80名とメーカー40名の参加であった。
- 車載 CT 導入について広島でも検討中である。畦元議員の業績として形に残る活動をしようと頑張っている。
- 畦元議員の講演、自民党員の勧誘活動も始めている。広島でも畦元議員の活動について知らない診療放射線技師もいるのでどんどん啓蒙していきたい。
- 広島参議院再選挙について話された。

7）その他

- 富田理事より、2月19日畦元議員をお呼びして埼玉県診療放射線技師会の役員研修会が開催されたとの報告がなされた。議員になられてからの実績等質疑応答により、共感していただける理事が増えた。活動を広げていきたい。Zoom の利用が広がっているので地区を跨いでの開催もできるのではないか。難しい場合は畦元議員の活動報告をビデオで撮影しておいて各地区の技師会、地方の技師会の勉強会等の機会に上映してもらうのも良いのではないか。色々とアイディアが出ているので取り纏めて共有し、活動のヒントにしてもらいたい。
- 木暮理事、補足上田理事より、21世紀の医療介護福祉を支える会（畦元議員参議院選挙のために設立された政治団体であった）を日本放射線技師連盟、日本歯科技工士連盟、日本臨床工学技士連盟、日本救急救命士協会で活動してきたが、活動実態のないまま 2 年経っており12月末で解散になったとの報告がなされた。お金だけ預かっている状況であったため、各参画団体にお金(4 万円ずつ)を寄付という形で選管に届出した。問題なく解散している。各参画団体には新たな体制で畦元議員を応援してもらうようにお願いしている。
- 芳士戸理事長より、畦元事務所の新しい畦元議員秘書2名について紹介がなされた。
  若林仁美 氏、遠藤晴彦 氏（政策秘書）

2. 審議事項

1）政治活動と選挙運動について(芳士戸理事長)

資料を理事の皆様にメールにて共有する。部外秘事項であるので取り扱いに注意していただきたい。不明な点は連盟事務局のほうにメールしてもらい、遠藤氏に返答していただくという形にする。また、次回活動報告会でも遠藤氏に参加してもらい質問を受けて回答していただく。

2）その他

連盟会費納入方法について(木暮理事)

連盟会費納入方法についてパワーポイントにて説明があった。従来は郵便局の払込取扱票を約

900 名の会員に送付していたが、人力的に厳しいため現在は郵便局備え付けの払込取扱票の使用か直接口座に振り込みをお願いしている。今現在 2021 年度会費納入者数が 6 名のみということを受け、連盟ホームページから PayPal 等を使用した入金方法を考えている。

芳士戸理事長：4 月 5 月までは様子見で進めていき、現状が変わらなければ今年は会員の方に払込取扱票を送付するつもりでいる。

吉川理事：連盟ホームページに会費納入の方法は記載されているか。

木暮理事：連盟ホームページにパワーポイントのような詳しい記載はない。わかりやすく変えていく。また、メーリングリストができれば入金の情報も配信でき現状を改善できると考えている。

白木副理事長：郵送はしない方向でいいのではないか。広報で進めてはどうか。

江端理事：年会費は一口 2,000 円という認識でよいか。

木暮理事：会則では会費は一口 2,000 円で一口以上となっている。寄付の場合は寄付と記載していただきたい。

芳士戸理事長：年会費は 2,000 円とし、寄付は寄付として入金でよいのではないか。

年会費、寄付に関して異議はなく今まで通りの方法で進めていくこととなった。

連盟会費納入方法については皆様の意見を聞きながら随時進めていくこととした。

3. 今後の予定

1) 畦元将吾先生活動報告会(第 2 回)

3 月を予定しているが、日程ならびにゲストについては未定。活動報告会の広報については各都道府県連盟支部長 45 名、理事、監事の先生方に配信している。

2) その他

事務局移転問題は速やかに行いたい。

そのためにも会員の皆様へ会費入金のご協力をお願いしたい。

4. 理事会総括(丹羽副理事長)

丹羽副理事長から 2021 年度第 1 回理事会の総括を述べられた。

最後に芳士戸理事長からの話、加藤先生からの話があった。

以上